

# 先生のLife in JAPAN

Vol.24

■ Anna・George

1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
2010年8月から只見町英語指導助手。  
小学校と中学校で語学の指導を行います。



12月の只見にこんなに雪が積もるなんて信じられません。突然の大雪にとっても驚きました。イギリスの12月も多少雪は降りますが、只見ほどではありません。でも、この冬もスノーボードができるのが楽しみです。  
この時期、クリスマスが本場に待ち遠しいです。現在、小学校でクリスマスの授業を楽しく行っています。授業の中ではクリスマスカードや飾り付けを作っています。イギリスの小学校でも私が今やっているようなことを行っています。私の両親は私が小学校時代に飾り付けたクリスマスツリーを今も飾っています。先生方もクリスマスプレゼントとして生徒たちにかわい

らしい飾りをくださったりもします。そんなわけで、イギリスの家庭ではクリスマスの飾りをすてきな思い出と共に大切に保管しています。

今年も一年を振り返る時期になってきましたね。2012年もたくさんの方がいました。今年には特に私の家族にとって特別な一年になりました。私の妹は彼女が作ったテレビゲームによって、国から特別賞が贈られました。また、母と私の妹が日本に来ることもできましたし、それに何より、私自身が婚約しました。何かとやるべきことが目の前に押し寄せてきていますが、2013年も本当に楽しみます。

みなさんのMerry ChristmasとHappy new yearをお祈りいたします。

\*この文書は12月中旬に作成されたものです。

(訳・只見中・平野)



## 広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 星野 弘尊

### 『診療所の現状と住民生活』

今年には12月に記録的な積雪があり、びっくりしました。除雪が大変なシーズンがやってきましたが、皆さん、無理のないようにしてください。

現在、診療所では看護師を募集しています。

なぜなら、看護師が足りないからです。全国的に看護師は足りない状態ですが、診療所でも同様です。このような状態のため、住民の方々にも診療所を利用するにあたり協力していただくこともあります。例えば、ご家族などが入院される場合、一人で安全にトイレ歩行ができない状態や夜間不穏となってしまうなどの患者さんには付き添いをお願いすることがあります。特に夜間は夜勤者が2人になることから、十分に注意をして勤務をしますが、目が行き届かなくなることもあります。転倒、骨折などの事故を防ぐためにもよろしく願います。

医師だけでは診療所は成り立ちません。多くの医療関係者の協力の下に只見町の医療が

支えられていることを改めて認識していただき、町民の皆さんも自分たちの町の医療を守るべく、考えて行動していただければと思います。医療なくして住民生活は成り立たないことを強調しておきます。

これからの只見町を考えると、高齢者が増加するのは明らかです。医療、介護、福祉の充実が必要不可欠なものと思います。この地域に住む住民として、自分で何ができるのか考えてみるのも、これからの只見町をよりよくするためには大切なことではないでしょうか。

